

実施しました！



1

出前授業 in 豊見城市立長嶺小学校

財務部では、小中学校、高校向けの出前授業として、タブレット端末等を活用した予算編集シミュレーションなど、アクティブラーニングを取り入れた「財政教育プログラム」を実施しています。本ページでは、8月27日～28日に豊見城市立長嶺小学校の小学6年生3クラス（87名）の児童たちを対象に行った出前授業をご紹介します。

（自分の将来のために） 日本の未来について考える

授業の前半は、「（自分の将来のために）日本の未来について考える」と題し、財務部職員が身近な公共サービスや公共施設の事例を説明し、これらを支えるための会費として税金や社会保険料が必要であることや、少子高齢化など日本の現状についても説明をしました。



財務部職員による授業の様子

また、より興味を持って理解してもらうため、財務部職員による寸劇を実施し、議会で公園や運動施設を増やしたい人と医療や介護の費用を増やしたい人との意見が分かれる様子や、社会保障の取扱いが異なるアメリカとフランスの国民に成り切って自国の公共サービスの特徴を紹介する様子を演じました。

予算編成シミュレーション・ 「日本村の予算をつくらう！」

授業の後半では、「もし、日本が人口100人、予算100万円のつの村だったら」という条件でグループワークを実施し、児童自ら未来の日本をどのような社会にしたいかを考え、予算のテーマを決めた後、「社会保障費等に多くの予算を費やすべきか」、「歳入確保のためにながでできるか」など、歳出と歳入をどのように増減させるか話し合いながら、タブレット端末のシミュレーションツールを調整し予算編成を行いました。



グループワークに没頭する児童たち



作成した予算案を発表

児童たちの声

グループごとの発表では、「少子高齢化の対策のため子供にかかる予算を増額したい」、「将来の日本のために子供の教育が充実した社会を目指したい」、「公共事業に力を入れて生活の利便性を向上させたい」、「格差是正のため所得税の割合を増やすべき」といった様々な意見がありました。

児童たちからは、「財政の仕組みや税金の使い道がわかった」、「グループで予算について話し合えてとてもよかった」、「税金の種類と特徴を知れて勉強になった」などの感想がありました。



寸劇の開幕！（興味をもってもらえた??）

財政教育プログラムを

2

出前授業 in
琉球大学教育学部附属小学校

次に8月30日、「琉附小祭」の多彩なイベントの一環として琉球大学教育学部附属小学校5、6年生（20名）を対象に行った出前授業をご紹介します。

国の財政について

授業の前半は、「（自分の将来のために）日本の未来について考える」と題し、身近な公共サービスや公共施設についてクイズ形式等で紹介し、これらを支えるための会費として税金や保険料が必要であること、少子高齢化による財政構造の変化などについて説明しました。



財務部職員による授業の様子

また、1億円のレプリカ（重さ約10kg）を用意し、実際に児童たちに手に取ってもらうことで、日本の財政に使われているお金の規模をイメージしてもらいました。

予算編成シミュレーション・ 「財務大臣になって予算を作ろう！」

授業の後半は、児童たちがグループに分かれ、財務大臣になって予算編成に取り組みました。グループごとに、どのような社会にしていきたいのかテーマを決め、「歳出はどの分野を充実させ又は抑制させればよいのか」、「歳入はどの税金を増減させるか」など、活発に意見が交わされました。

本授業には、児童たちに交じって保護者も一緒にグループワークに参加



児童による発表の様子



財務部職員による授業の様子

加しており、児童たちの活発な議論に引き込まれた保護者たちが議論に加わる様子も見られました。
グループごとの発表では、「子育てのしやすい社会にすることで、少子高齢化の解消を目指す」、「社会保障費を増やすために、酒税やタバコ税を増税する」といった意見があり、財務部職員も刺激を受ける機会となりました。

児童たちの声

児童たちからは、「財政は自分の生活や将来と関係しているとわかった」、「日本が税金をどんなことに使っているのかわかった」、「財政について興味をもった。友達にも教えたい」などの感想がありました。

財務部では、今後も教育機関と連携し、児童・生徒たちが日本の財政に興味を持つきっかけとなる出前講座を実施していく予定です。

財務部の出前講座については、左記のお問合せ先までお気軽にお問合せください。

お問合せ先

財務部 財務課（地域連携担当）
☎098-866-0091